



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 中央倉庫

コード番号 9319 URL <http://www.chuosoko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 湯浅 康平

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画管理本部長

(氏名) 山田 栄作

TEL 075-313-6151

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	17,795	1.6	979	14.4	1,105	14.6	707	19.9
26年3月期第3四半期	17,507	2.9	856	△16.4	964	△14.5	589	△6.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,463百万円 (34.3%) 26年3月期第3四半期 1,089百万円 (40.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	37.18	—
26年3月期第3四半期	31.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	41,925		34,273			81.4
26年3月期	40,481		33,244			81.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 34,116百万円 26年3月期 33,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	12.50	22.50
27年3月期	—	10.00	—		
27年3月期(予想)				12.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	2.9	1,330	14.5	1,440	12.5	840	13.7	44.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	19,064,897 株	26年3月期	19,064,897 株
27年3月期3Q	41,286 株	26年3月期	41,085 株
27年3月期3Q	19,023,714 株	26年3月期3Q	19,024,014 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策の効果により企業収益の改善等、緩やかな回復基調で推移しましたが、消費税引き上げの影響による個人消費の弱さが依然残る等、引き続き先行き不透明な状況となりました。

物流業界におきましては、消費税後の荷動きの減少に加え、人件費の上昇等による輸送コストの増加等により、厳しい経営環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、ソリューション営業を積極的に推進するとともに、経営管理の強化を図り徹底した業務の効率化に努めました。また、顧客ニーズへの対応と業務の効率化を図るため既存設備の改修を進め、平成26年12月に京都支店城南営業所B号倉庫が完成・稼働しました。さらに事業基盤の強化を図るため、平成26年12月に北陸支店金沢営業所の増築工事に着手しました。また、さらなる業務の品質向上を図るとともに、環境に配慮したグリーン経営の推進にも取り組み、経営の効率化に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は17,795百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は979百万円(前年同期比14.4%増)となり、経常利益は1,105百万円(前年同期比14.6%増)、四半期純利益は707百万円(前年同期比19.9%増)となりました。

(セグメント別の概況)

① 倉庫業

倉庫業におきましては、入出庫高及び保管残高ともに前年同期に比し増加しました。これらの結果、倉庫業の営業収益は4,158百万円(前年同期比3.6%増)、セグメント利益は499百万円(前年同期比25.3%増)となりました。

② 運送業

運送業におきましては、取扱数量は入出庫高の増加に伴い保管貨物の取扱いは堅調に推移するものの、保管外貨物の取扱いは減少しました。これらの結果、運送業の営業収益は9,003百万円(前年同期比1.3%減)、セグメント利益は609百万円(前年同期比1.1%増)となりました。

③ 国際貨物取扱業

国際貨物取扱業におきましては、通関業の取扱数量は輸入・輸出ともに堅調に推移し、梱包業の取扱数量も、輸出貨物の取扱高の増加に伴い増加しました。これらの結果、国際貨物取扱業の営業収益は4,683百万円(前年同期比5.9%増)、セグメント利益は282百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,443百万円増の41,925百万円となりました。これは主に、流動資産の現金及び預金が127百万円減少しましたが、固定資産の建物及び構築物が168百万円、建設仮勘定が109百万円、投資その他の資産の投資有価証券が1,143百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ414百万円増の7,651百万円となりました。これは主に、流動負債の一年内返済予定の長期借入金が105百万円、固定負債の長期借入金が180百万円減少しましたが、流動負債のその他に含まれております未払金が172百万円、固定負債の繰延税金負債が373百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,028百万円増の34,273百万円となりました。これは主に、利益剰余金が273百万円、その他有価証券評価差額金が744百万円増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント減の81.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローで1,486百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローで882百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローで731百万円の減少となり、前連結会計年度末に比べ127百万円(1.9%)減少し、当第3四半期連結会計期間末には6,753百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費によるものであり、1,486百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、主に、有形固定資産の取得のための支出によるものであり、882百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、主に、長期借入金の返済及び配当金の支払いによるものであり、731百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結業績は、概ね予想通り推移しており、現時点においては、平成26年5月9日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第135期第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が8百万円増加し、利益剰余金が5百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,880,712	6,753,332
受取手形及び営業未収入金	3,334,372	3,439,707
貯蔵品	6,023	7,659
繰延税金資産	107,653	66,451
その他	536,378	578,161
貸倒引当金	△5,550	△5,689
流動資産合計	10,859,591	10,839,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,708,482	11,876,977
機械装置及び運搬具(純額)	700,452	693,016
土地	9,604,077	9,604,077
リース資産(純額)	67,733	116,374
建設仮勘定	36,880	146,707
その他(純額)	176,653	164,991
有形固定資産合計	22,294,279	22,602,143
無形固定資産	31,924	29,803
投資その他の資産		
投資有価証券	6,946,037	8,089,172
退職給付に係る資産	14,282	17,782
その他	338,472	349,776
貸倒引当金	△2,907	△3,012
投資その他の資産合計	7,295,885	8,453,719
固定資産合計	29,622,088	31,085,666
資産合計	40,481,679	41,925,290

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,264,139	1,188,354
短期借入金	3,110,000	3,110,000
1年内返済予定の長期借入金	363,800	258,300
リース債務	19,039	32,332
未払法人税等	196,251	157,268
賞与引当金	207,219	113,169
役員賞与引当金	14,600	12,600
その他	516,579	969,956
流動負債合計	5,691,628	5,841,981
固定負債		
長期借入金	483,300	302,700
リース債務	52,078	91,730
繰延税金負債	691,202	1,065,170
退職給付に係る負債	223,238	254,489
その他	95,306	95,416
固定負債合計	1,545,127	1,809,507
負債合計	7,236,755	7,651,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	26,660,497	26,934,159
自己株式	△35,537	△35,714
株主資本合計	31,623,062	31,896,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,543,745	2,288,011
為替換算調整勘定	6,578	8,178
退職給付に係る調整累計額	△80,072	△76,123
その他の包括利益累計額合計	1,470,251	2,220,065
少数株主持分	151,610	157,188
純資産合計	33,244,924	34,273,801
負債純資産合計	40,481,679	41,925,290

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）
営業収益	17,507,329	17,795,414
営業原価	16,214,775	16,377,289
営業総利益	1,292,554	1,418,125
販売費及び一般管理費	435,828	438,128
営業利益	856,725	979,996
営業外収益		
受取利息	537	539
受取配当金	102,991	120,297
社宅使用料	8,634	9,263
持分法による投資利益	16,358	13,356
その他	18,643	17,445
営業外収益合計	147,166	160,902
営業外費用		
支払利息	33,981	31,868
その他	5,506	3,621
営業外費用合計	39,487	35,489
経常利益	964,404	1,105,409
特別利益		
固定資産売却益	14,504	10,299
投資有価証券売却益	—	20
特別利益合計	14,504	10,320
特別損失		
固定資産除却損	20,551	3,512
固定資産売却損	191	269
特別損失合計	20,743	3,782
税金等調整前四半期純利益	958,165	1,111,948
法人税、住民税及び事業税	292,991	386,487
法人税等調整額	70,806	11,921
法人税等合計	363,797	398,408
少数株主損益調整前四半期純利益	594,367	713,539
少数株主利益	4,486	6,196
四半期純利益	589,881	707,342

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	594,367	713,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	489,580	744,403
退職給付に係る調整額	—	3,948
持分法適用会社に対する持分相当額	5,566	1,600
その他の包括利益合計	495,147	749,952
四半期包括利益	1,089,515	1,463,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,084,031	1,457,157
少数株主に係る四半期包括利益	5,483	6,334

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成26年4月1日
至平成26年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,111,948
減価償却費	871,874
貸倒引当金の増減額(△は減少)	244
賞与引当金の増減額(△は減少)	△94,050
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	25,120
受取利息及び受取配当金	△120,836
支払利息	31,868
持分法による投資損益(△は益)	△13,356
為替差損益(△は益)	△201
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△20
固定資産除却損	1,994
固定資産売却損益(△は益)	△10,029
営業債権の増減額(△は増加)	△105,334
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,635
その他の資産の増減額(△は増加)	△44,437
営業債務の増減額(△は減少)	△75,784
未払消費税等の増減額(△は減少)	171,413
その他の負債の増減額(△は減少)	67,784
小計	1,814,560
利息及び配当金の受取額	124,088
利息の支払額	△30,425
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△421,292
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,486,930
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△903,244
有形固定資産の売却による収入	15,260
投資有価証券の売却による収入	7,793
その他	△2,702
投資活動によるキャッシュ・フロー	△882,892
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△286,100
リース債務の返済による支出	△16,766
自己株式の取得による支出	△177
配当金の支払額	△427,819
少数株主への配当金の支払額	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△731,619
現金及び現金同等物に係る換算差額	201
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△127,379
現金及び現金同等物の期首残高	6,880,712
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,753,332

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	3,990,566	9,092,306	4,424,457	17,507,329	—	17,507,329
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	23,092	31,960	—	55,052	△55,052	—
計	4,013,659	9,124,266	4,424,457	17,562,382	△55,052	17,507,329
セグメント利益	399,112	603,170	265,218	1,267,501	△410,775	856,725

(注) 1. セグメント利益の調整額△410,775千円には、セグメント間取引消去12千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△410,787千円が含まれております。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	4,135,520	8,976,318	4,683,575	17,795,414	—	17,795,414
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	23,112	26,821	—	49,933	△49,933	—
計	4,158,632	9,003,140	4,683,575	17,845,348	△49,933	17,795,414
セグメント利益	499,969	609,582	282,664	1,392,216	△412,219	979,996

(注) 1. セグメント利益の調整額△412,219千円には、セグメント間取引消去240千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△412,459千円が含まれております。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。